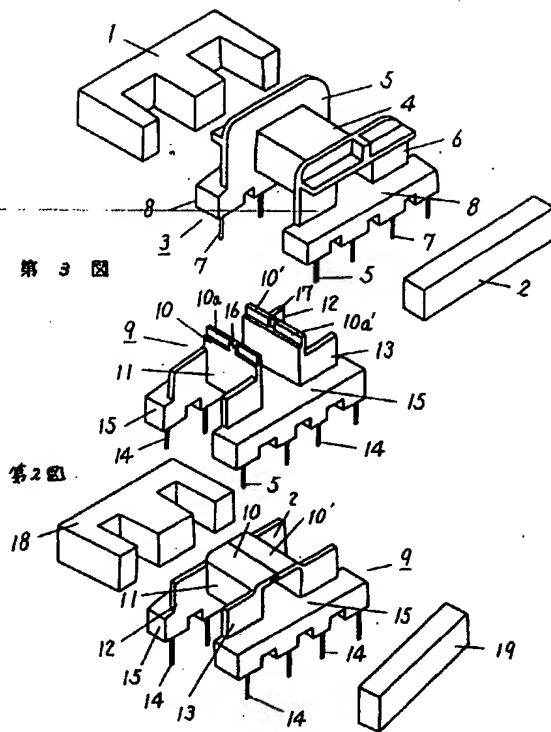
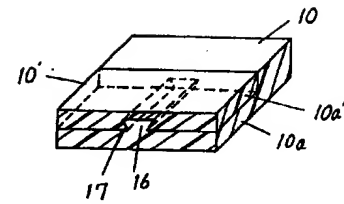


第 1 図



第 4 図



CLIPPEDIMAGE= JP361029109A
PAT-NO: JP361029109A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61029109 A
TITLE: TRANSFORMER

PUBN-DATE: February 10, 1986

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAMURA, TOYO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP59149997

APPL-DATE: July 19, 1984

INT-CL_(IPC): H01F027/32

US-CL-CURRENT: 336/198

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable to employ a split mold structure as a mold of a coil bobbin by forming collars at both ends of a winding body formed with a bent piece for forming square-sectional cylinder by bending and coupling with both open ends in U-shape.

CONSTITUTION: Collars 12, 13 are respectively formed at both ends of a winding body having bent pieces 10, 10' for forming square-sectional cylinder by projecting upward and bending perpendicularly at both open ends in U-shape. Further, a terminal unit 15 to which terminal pins 14 are implanted is provided at the lower ends of the collars 12, 13. The pieces 10, 10' are bent and coupled with a coil bobbin 9, and a winding is then wound on the body 11 between the collars 12 and 13. E-shape and I-shaped cores 18, 19 made of ferrite core or laminated core are associated with the bobbin 9 to construct a transformer.

COPYRIGHT: (C) 1986, JPO&Japio

⑤ Int. Cl.

H 01 F 27/32

識別記号

庁内整理番号

8323-5E

④ 公開 昭和61年(1986)2月10日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 トランス

⑯ 特 願 昭59-149997

⑰ 出 願 昭59(1984)7月19日

⑱ 発 明 者 田 村 東 洋 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

トランス

2、特許請求の範囲

コ字状でその両開放端に折曲し結合することによって角筒を構成する折曲片を設けた巻胴の両端に銑を設け、この銑の一部に端子ピンを備えた端子部を設けたコイルボbinを備え、このコイルボbinの巻胴部に巻線を施し、磁心を組込んでなるトランス。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は各種音響機器、映像機器、産業機器などに使用するトランスに関するものである。

従来例の構成とその問題点

近年、トランスの需要は、エレクトロニクス産業の伸長に伴い著しく増加している。このような中で市場ニーズは、軽薄短小化、低コスト化、さらには商品化までのリードタイムの短縮化などが要求されている。

以下、図面を参照しながら、従来のトランスについて説明する。

1はフェライトコアあるいはラミネート鉄心よりなるE型磁心、2はこのE型磁心1と組合せられて閉磁路の磁心を構成するフェライトコアあるいはラミネート鉄心よりなるI型磁心、3は合成樹脂よりなるコイルボbinで、このコイルボbin 3は、巻胴4の両端に銑5、6を設け、この銑5、6の下端部に端子ピン7を植設した端子部8が一体に設けられている。

このコイルボbin 3の巻胴4に巻線を巻回し、上記E型磁心1とI型磁心2を組込んでトランスを構成するものであった。

このような構成で、コイルボbin 3は角筒状の巻胴4を有しているため、成型金型構造としては4方向割れ型構造を必要とする、いわゆる端子ピン7の方向とE I型磁心1、2の挿入方向に割らなければ成型できないものであった。このため、成型金型としてコストが高く、成型金型の製作日数がかかり、市場ニーズに十分応えるものとはい

